

こ だ ま

御入学おめでとうございます 「中学校は何を学ぶところかな」

－3年間を共に過ごす1年生108名－

御 入学おめでとうございます。今日の入学式により、みなさんは晴れて伝統ある栃木東中の生徒になりました。中学生になったということで、大きな期待と不安が入り混じっていることでしょう。ところで、中学校は何を学ぶところなのでしょうか。代表的な考え方として、

『大人になるために、必要なことを学び、自分の進路（生き方）について考えるところが中学校時代』であると言われます。

さて、それはなぜでしょう。大人になれば、みんなの行動に、いちいち口出しをする人は少なくなります。自分の思うとおりに行動できるようになります。しかし、何でも好き勝手に行動できるということではありません。社会には、みんなが安心して生活できるように「きまりや約束」があり、これが守れない人は、立派な大人として認められません。例えば、会社に遅刻してしまう（登校や集合時間が守れない）、約束の日までに仕事が終わらない（提出物の期限が守れない）、自分勝手に仕事を進めてしまう（みんなと協力できない）、社会人としての礼儀（あいさつが進んでできない・目上の人を大切にできない）などです。中学校時代にきちんとした生活態度が身につけば、社会人になっても十分通用するのです。

また、『将来、自分はどんな職業に就きたいか』とか、『自分の長所を伸ばすにはどうすればいいか』、『直して行くべきところはどこなのかな』を考えるところなのかもしれません。そのために、勉強することによって社会のしくみを知ったり、知識を身に付けたりする必要があります。そして、行事を通して仲間と協力して仕事をすることの大切さを学ぶのです。

最後に、中学校とはそんなところですから、
小学校とは感じが違い最初は戸惑うかもしれません。
**しかし、自分をよりよくしようと向上心を持ち努力する
人に対しては、先生方は最大限の協力をしてくれます。**

勉強も詳しく教えてくださいます。行事の運営も、みなさんに任せていくことも多くなるでしょう。それだけ、みなさんを信用しているわけです。今は不安の方が大きいでしょうが、少しずつ中学校で学ぶ楽しさが分かってきて、有意義な3年間になると思います。それまでは健康に注意し、交通安全を心がけ登下校してください。

先生方からの歓迎のことば

大輪 寿江先生 (1組担任 音楽担当)

ご入学おめでとうございます。みなさんとの出会いを楽しみにしていました。先生や仲間と一緒に苦しいこと楽しいことを経験し、大きく成長してほしいと思います。1年間よろしくお願ひします。

大山 洋平先生 (2組担任 社会担当)

ご入学おめでとうございます。大きな期待と不安を抱いての入学だと思いますが、楽しい学校生活を送れるよう一緒にがんばりましょう。

矢口 昭夫先生 (3組担任 数学担当)

今年度より栃木東中に赴任しました。卓球部顧問です。何事でも全力で取り組んでいきたいと思います。よろしくお願ひします。

田中 宏太郎先生 (4組担任 理科担当)

入学おめでとうございます。充実した中学校生活を送っていけるよう共にがんばりましょう。1年間よろしくお願ひします。

安達 昭一先生 (副担任 学習指導主任 数学担当)

新しい友との出会い、新しい環境での学び合いで少し不安があるかも知れません。しかし、みんなで協力し合いながら小学校で培った素晴らしいを發揮し、新しい栃木東中の伝統を作っていきましょう。

神戸 隆良先生 (副担任 生徒指導主事 数学担当)

入学おめでとう。みなさんと共に成長したいです。よろしくお願ひします。

船田 明先生 (学年主任 社会担当)

いよいよ今日から中学校生活のスタートです。私たち教員を含めた115名全員が、目標と希望を持ち、よりよい学年になるようにしていきましょう。

